

病院の情報をおだやかで心地よい風のように…



森町国民健康保険病院基本理念

私たちは、常に「いたわり」と「思いやり」の心をもって病める人が心身ともに癒される病院づくりを目指します

院内試食会の様子

去る7月21日。森町国保病院栄養管理委員会による給食の試食会が開催されました。

メンバーは、高塩院長・館山総看護師長・坂田事務長他看護スタッフと栄養士・庶務の8名です。試食内容は、当日夕食に患者さんに提供される一般食（献立・すり身とネギの味噌汁・ロールキャベツ・マッシュポテト・ほうれん草ひたし・りんごジュース）と、この献立をベースにしたミキサー食（すり身とネギの味噌汁・ロールキャベツ・マッシュポテト・減塩のり佃煮・野菜ゼリー）、それに加えて栄養強化を目的としたゼリー類や飲み物を対象に行いました。病院食では、概ね1日の栄養量とりわけ塩分摂取量が6g以下と厳しく規定されるなかでその塩分量を3食に振り分けた献立を作成していきます。試食会当日の塩分量は1日当たり59g・夕食1



試食中



食当たり約24gとなっています。試食会では塩分量に対しておかずの味付けがしっかりとされているといったり、味噌汁だけはもう少し濃くならないかななどの意見が出されました。また、一般の方には見ただけで敬遠されがちなペーパースト食についても試食をしていただきそれぞれ良好な評価をいただいています。国保病院では、このような試食会は毎年1回実施される入院患者さんを対象とした嗜好調査の結果を踏まえながら、提供する食事の内容やレシピとそれに付随する栄養食品を厳選しています。

10月1日よりインフルエンザの予約が始まりました。11月1日から接種できます。

現在、理学療法士3名、柔道整復師1名、助手1名の計5名で、医師の指示のもと主に以下のリハビリテーション業務を行っております。

運動器リハビリテーション
運動器（骨・関節・筋肉・靱帯など）を支えたり、動かしたりする器官に関する疾患（骨折、変形性関節症、リウマチ、腰痛、頸部痛、肩痛、スポーツ障害、四肢外傷など）に対してのリハビリテーション。

脳血管疾患等リハビリテーション
脳梗塞・脳出血・くも膜下出血などの脳血管疾患、脳腫瘍・脊髄腫瘍などの中枢神経疾患、多発性硬化症・末梢神経障害・その他の神経疾患、パーキンソン病・筋萎縮性側索硬化症などの慢性的神経疾患、失語症・認知症などの高次脳機能障害、寝たきりや動かないで起こる不動態・廃用症候群を有する人に対してのリハビリテーション。

呼吸器リハビリテーション
肺炎、無気肺その他の急性発症した呼吸器疾患の患者等

病院内の係紹介 機能回復訓練室

機能回復訓練室では運動療法・物理療法を用いてリハビリテーションを行い、患者様の生活の質（QOL）の維持・向上を目指しております。

また、平成28年4月より地域包括ケア病床が始まり、これまで以上にリハビリテーションの必要性が高まっております。

私たちは機能回復訓練室一同は、地域住民の期待に応えられますよう一層の努力をしてみたいと思っております。



新CT・リハビリ室機器紹介



⑨月に新しいCTが導入されました。16列型マルチスライスCTスキャナです。

この装置は、1回転で最大16スライスを一度に撮影できます。高精密な映像で、より確かな映像診断が行え、広範囲を一度に撮影し検査時間が飛躍的に短縮されました。以前の腹部CTですと息止め時間が20秒程度かかっておりましたが、この装置では約半分の10秒程度での撮影が可能となりました。息止め困難な高齢者の方に対して

でも短時間で撮影できる為、従来よりも負担が少ない検査が可能になるとともに、動きを抑えた高画質の画像を提供いたします。又、高度な技術を組み合わせたプログラムによって患者様への放射線被ばくを低減しています。このCTの導入により、画像情報における医療の質や医師による画像診断能力が劇的に向上しました。

リハビリ室機器

① 牽引装置

椅子に座った姿勢でそのまま腰部牽引が可能。

② 干渉低周波治療器

症状に応じて心地良い低周波治療が可能。

③ エアーマッサージ器

空気圧により上下肢のマッサージが可能。

④ レーザー治療器

半導体レーザーの照射により、筋肉や関節の痛みをやわらげる。

⑤ エアロバイク(有酸素トレーニング)

本体をまたぐことなく安全に乗り降り可能。

⑥ 温熱治療器

患部を振動等により心地よく温める。

